どなたでも自由にご観戦いただけます

主催：広島大学・マツダ財団

国際協力学を拓く実践的研究者育成プログラム（i-ECBO）

「能力開発特論」ディベート演習　公開決勝戦

「日本は　穀物を原料とする　バイオエタノールの導入を　推進すべし」

この度，学内外の方々を対象に，産学連携の講義の成果としてディベート決勝戦（論題：日本は穀物を原料とするバイオエタノールの導入を推進すべし）を下記の通り公開します．ディベートの出場者は，広島大学大学院修士課程の学生です．みなさまどうぞ奮ってご観戦ください．

日時

２００７年７月２０日（金）
１４：３５～１６：０５

場所

広島大学　中央図書館
ライブラリーホール
東広島市鏡山１丁目２番２号

（参加無料）

どなたでも自由にご観戦いただけます。

バス「広島大学」行に乗り、
「広大中央口」バス停で下車

◆　当講座担当教官 藤原教授からのメッセージ　◆

急速に変化する社会の中，国際的に通用する社会人となるには，専門分野の個々の知（知識や技術）に加え，それらを融合した新しい知や周辺分野の知など，広範な視野が必要になります．そのため，柔軟な思考，倫理観や国際的視点に立ったデザイン能力，コミュニケーションなど，多様な能力が要求されるようになりました．

この講座では，最前線で活躍する社会人を招いて実践型の教育を行うとともに，各専門分野で学んだ知を社会に活かすために最低限必要となる考え方を学び，演習（ディベート）することで，これらの能力を養成しています．みなさまどうぞお越しください．

協力：マツダ(株)，中国電力(株)
キャリアデザインオフィス
(社)中国地域ニュービジネス協議会
日本アイビーエム中国ソリューション(株)

問合せ先：
広島大学大学院国際協力研究科　藤原章正教授
電話・FAX　082-424-6921
E-mail：afujiw@hiroshima-u.ac.jp